

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 12 月 26 日(2023.12.26)

【公開番号】特開 2023-126459(P2023-126459A)  
【公開日】令和 5 年 9 月 7 日(2023.9.7)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-169  
【出願番号】特願 2023-115577(P2023-115577)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 12 月 18 日(2023.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各種処理を実行する制御手段を備えた遊技機において、

前記制御手段は、

前記各種処理のうち第 1 処理群の処理を実行する第 1 処理群実行手段と、

前記各種処理のうち第 2 処理群の処理を実行する第 2 処理群実行手段と、

を備え、

本遊技機は、

前記第 1 処理群の処理が実行される場合には情報の書き込み及び情報の読み出しが可能である一方、前記第 2 処理群の処理が実行される場合には情報の読み出しは可能であるものの情報の書き込みが不可である第 1 処理対応記憶領域と、

30

前記第 2 処理群の処理が実行される場合には情報の書き込み及び情報の読み出しが可能である一方、前記第 1 処理群の処理が実行される場合には情報の読み出しは可能であるものの情報の書き込みが不可である第 2 処理対応記憶領域と、

を備え、

前記第 1 処理群の処理には遊技の進行を制御するための処理が含まれており、

前記第 2 処理群の処理には遊技履歴を管理するための処理が含まれており、

前記第 1 処理群実行手段は、前記第 1 処理群の処理として、所定契機が発生した場合に所定記憶領域に所定送信情報を記憶させるために使用される所定処理を実行する手段を備え

40

本遊技機は、前記所定記憶領域に記憶された前記所定送信情報が前記第 1 処理群の処理及び前記第 2 処理群の処理とは異なる制御で送信されるようにする手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

50

上記課題を解決すべく請求項 1 記載の発明は、各種処理を実行する制御手段を備えた遊技機において、

前記制御手段は、

前記各種処理のうち第 1 処理群の処理を実行する第 1 処理群実行手段と、

前記各種処理のうち第 2 処理群の処理を実行する第 2 処理群実行手段と、

を備え、

本遊技機は、

前記第 1 処理群の処理が実行される場合には情報の書き込み及び情報の読み出しが可能である一方、前記第 2 処理群の処理が実行される場合には情報の読み出しは可能であるものの情報の書き込みが不可である第 1 処理対応記憶領域と、

10

前記第 2 処理群の処理が実行される場合には情報の書き込み及び情報の読み出しが可能である一方、前記第 1 処理群の処理が実行される場合には情報の読み出しは可能であるものの情報の書き込みが不可である第 2 処理対応記憶領域と、

を備え、

前記第 1 処理群の処理には遊技の進行を制御するための処理が含まれており、

前記第 2 処理群の処理には遊技履歴を管理するための処理が含まれており、

前記第 1 処理群実行手段は、前記第 1 処理群の処理として、所定契機が発生した場合に所定記憶領域に所定送信情報を記憶させるために使用される所定処理を実行する手段を備え

、

本遊技機は、前記所定記憶領域に記憶された前記所定送信情報が前記第 1 処理群の処理及び前記第 2 処理群の処理とは異なる制御で送信されるようにする手段を備えていることを特徴とする。

20

30

40

50